

# 1.認可小規模保育事業所 健生くまのこ園 2024 年度 運営方針

## (総論)

### 年間目標:

保育所保育指針に基づき、園児と保育者が共に笑顔で楽しく保育を実践することで、園児の健やかな成長をサポートする保育環境を提供する。

### 重点的取組み:

#### ① 子ども一人一人の主体性を育む環境づくり

##### 目標:

週に1~2回の頻度で、「制作活動等」、「遊び」において、子ども一人一人が、じっくり取り組む適切な時間を設定し、保育所保育指針の求める0歳児から2歳児までに育む力(感性、創造性、集中力、忍耐力、継続性)を養える環境を提供する。

##### 具体的な計画:

- 月齢別・発達段階別に合わせた活動内容の計画:
  - 0歳児: 感触遊び、手遊び、絵具遊びなど
  - 1歳児: クレヨンや粘土を使った制作、ごっこ遊びなど
  - 2歳児: 簡単な工作、ブロック遊び、お絵描きなど
- 子どもたちの興味や関心を引き出す環境づくり:
  - 子どもたちが自由に材料や道具を選べるようにする
  - 保育者が遊びのヒントやサポートを提供する
- 子どもの主体性を尊重し、集中して取り組める環境づくり:
  - 静かな環境を作る
  - 他の活動への参加は強制しない
- 子どもの作品を大切に扱い、達成感を味わえるようにする:
  - 作品を掲示したり、持ち帰ったりできるようにする
  - 子どもたちの努力を褒める

#### ② 保育者のスキルアップ

##### 目標:

保育者のスキルUP、特に0歳児~3歳未満児における保育所保育指針の求める培うべき力について理解を深め、理論的背景と創意工夫による楽しさの中にお実践力と洞察力を習得する。

##### 具体的な計画:

- **研修の実施:**
  - 年間 1 回以上、外部研修・Web 研修、管理者等による研修を実施
  - 研修テーマ例:
    - 0 歳児～3 歳未満児の発達と保育
    - 異年齢保育における保育実践
    - 子どもたちの興味や関心を引き出す環境づくり
  - 研修後の振り返りと実践への活かし合い
- **事例研究会:**
  - 月に 1 回、保育者同士で事例を持ち寄り、意見交換を行う
  - 具体的な保育実践の共有
  - 子どもたちの反応や課題の分析
- **読書会:**
  - 年に 2 回、保育関連書籍を読む and 意見交換を行う
  - 最新の保育理論の理解
  - 保育実践への活かし合い

### ③ チーム保育強化

#### 目標:

個々の職員のチーム保育への理解と実践に必要な相互理解力、コミュニケーション力、協調性、共同性、感謝、敬意、リスペクト、相手に分かりやすく伝える力を養う。

#### 具体的な計画:

- **チームミーティング:**
  - 週に 1 回、チームミーティングを実施
  - 保育内容や子どもの様子について共有
  - チーム目標の設定と計画
  - 課題解決に向けた話し合い
- **合同研修:**
  - 年に 1 回、全職員参加の合同研修を実施
  - チームワーク強化を目的とした研修
  - チームワークを高めるためのゲームやアクティビティ
- **相互観察:**
  - 保育者同士が互いの保育を相互観察
  - フィードバックの共有
  - 保育実践の改善

#### 評価方法:

- 職員アンケート
- 保護者アンケート
- 園児の観察記録

- 保育士評価、保育所評価シート、その他
- 研修の評価

その他:

- 上記の計画は必要に応じて変更する。
- 保護者との連携を図り、家庭と保育所が一体となって子どもたちの成長をサポートする。

以上、2024年度の運営方針(総論)です。

健生くまのこ園では、子どもたちが笑顔で楽しく過ごせるよう、今後も努力していきましょう。